



2025年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年8月9日
東上場会社名 ミナトホールディングス株式会社 上場取引所
コード番号 6862 URL <https://www.minato.co.jp>代表者 (役職名) 代表取締役会長 兼グループCEO (氏名) 若山 健彦
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役CFO (氏名) 三宅 哲史 (TEL) 03-5733-1710
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第1四半期の連結業績(2024年4月1日~2024年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第1四半期	4,701	△4.4	52	△83.2	63	△81.5	37	△95.9
2024年3月期第1四半期	4,918	△18.7	314	84.7	341	31.7	911	514.3

(注) 包括利益 2025年3月期第1四半期 52百万円(△94.6%) 2024年3月期第1四半期 971百万円(517.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第1四半期	5.00	4.97
2024年3月期第1四半期	122.07	121.50

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第1四半期	16,947	5,625	33.2
2024年3月期	16,822	5,749	34.1

(参考) 自己資本 2025年3月期第1四半期 5,618百万円 2024年3月期 5,742百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	0.00	—	14.00	14.00
2025年3月期	—	—	—	—	—
2025年3月期(予想)	—	0.00	—	14.00	14.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日~2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	20,000	5.2	735	△40.5	665	△45.7	485	△67.3	65.28

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年3月期1Q	7,886,314株	2024年3月期	7,886,314株
② 期末自己株式数	2025年3月期1Q	544,145株	2024年3月期	456,945株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2025年3月期1Q	7,407,569株	2024年3月期1Q	7,465,409株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(会計方針の変更に関する注記)	9
(セグメント情報等の注記)	9
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2024年4月1日～2024年6月30日)における我が国経済は、経済活動の正常化や企業収益の回復と設備投資の持ち直し、インバウンド需要の拡大等が続き緩やかな景気回復基調となりました。一方、円安に伴う原材料価格の高騰や物価高による消費マインドの停滞など、景気が下振れするリスクは存在しています。世界経済においては、欧米各国は高金利政策を減速させ始め、ウクライナ問題や中東情勢の長期化とエネルギー価格の上昇、中国経済の成長鈍化、米中貿易摩擦等、不透明さが継続しております。

当社グループの主要な市場である半導体関連市場におきましては、メモリー価格の上昇が見られるものの、特にパソコン、サーバー需要の回復は顕在化せず部品調達の調整や製品の在庫調整の動きが継続しております。

このような経営環境のもと、当社は、デジタル分野において他企業との連携やM&Aを進めることでコンソーシアム(共同体)を形成し、これを拡大することでシナジーを創出し企業価値を高めていくことを柱とする「デジタルコンソーシアム構想」を成長戦略として位置付け、「デジタルコンソーシアムで未来の社会を創造する」というビジョンを推進しております。

当第1四半期連結累計期間につきましては、ICTプロダクツでの需要の減少やROM書込みサービス事業での書込み数量の減少等により売上高は4,701百万円(前年同期比4.4%減)となりました。前期に実施した設備投資による減価償却費の増加もあり、営業利益は52百万円(前年同期比83.2%減)、経常利益は63百万円(前年同期比81.5%減)となりました。また、前期において子会社株式売却に係る特別利益1,278百万円を計上していたこと等の影響により、当第1四半期連結累計期間の親会社株主に帰属する四半期純利益は37百万円(前年同期比95.9%減)となりました。

セグメント別の業績につきましては、次のとおりであります。

①デジタルデバイス

主要製品のDIMM(Dual Inline Memory Module)及びSSD(Solid State Drive)の主要調達部材である半導体メモリー製品のDRAM、NANDにおいては、半導体メモリー市況価格は上昇をみせていますが、サーバー、パソコン、スマートフォン等の需要は本格回復しない状態が続きました。

当社顧客におきましても、パソコンメーカーの販売台数はコロナ禍での巣ごもり特需の反動から低調のまま推移し、それ以外の産業系顧客においても在庫調整が継続している状況であります。一方で、メモリー価格の上昇や新規案件の獲得等により、売上高は前年同期を上回りました。また、利益率の高い自社ブランドのメモリーモジュール製品の販売が利益確保に寄与しました。

これらの結果、当セグメントのセグメント売上高は2,502百万円(前年同期比19.0%増)、セグメント利益(営業利益)は361百万円(前年同期比61.2%増)となりました。

②デジタルエンジニアリング

ROM書込みサービス事業では、日本サムスン株式会社、株式会社トーメンデバイスと共同で実施する国内大手メーカーに向けたプロジェクトにおいて書込み数量が減少したことに加え、前期に実施した設備投資による減価償却費が増加しました。

デバイスプログラマ事業では、大手電機メーカー向けに国内製新型オートハンドラの納入を行いました。顧客の生産調整の影響により変換アダプタの販売数量は減少しました。一方ディスプレイソリューション事業におきましては、超薄型サイネージ「WiCanvas」の大手GMS、店舗、ショールームなどへの導入が堅調に推移し、ATM向けのタッチパネルも顧客の在庫調整が一巡したことから販売が堅調に推移しました。

これらの結果、当セグメントの売上高は639百万円(前年同期比20.6%減)、セグメント損失(営業損失)は83百万円(前年同期は337百万円の利益)となりました。

なお、横浜市にある社屋建て替え工事につきましては、2024年2月に第一期工事が完了して稼働開始しており、本年度中には第二期工事が完了し、竣工予定です。

③ICTプロダクツ

テレワークソリューション事業におきましては、据置型会議システム全体において需要が軟調に推移し、また前期後半に取り扱いを開始した新たなデジタル会議システムの立ち上がりが遅れたこと等により、販売実績は前年同期を下回る結果となりました。

デジタル関連機器事業におきましては、第1四半期は例年需要が軟調な時期であることに加え、長引く物価高を受けた生活防衛意識の高まりなどから需要は低調に推移しました。

これらの結果、当セグメントの売上高は1,560百万円（前年同期比8.6%減）、セグメント損失（営業損失）は10百万円（前年同期は1百万円の利益）となりました。

④その他

その他では、Webサイトの構築や広告の制作プロデュース及びマーケティングのコンサルティング事業、システム構築や技術者派遣事業、国内外のベンチャー企業への投資や太陽光発電事業等のアセット投資などの各事業において、新たな案件獲得が進みましたが、当第1四半期累計期間においては費用が先行する形となりました。また、2023年6月に全株式を譲渡した株式会社クレイトソリューションズを連結範囲から除外したことにより、前年同期比では売上高、利益ともに大幅な減少となりました。

これらの結果、当セグメントの売上高は91百万円（前年同期比79.4%減）、セグメント損失（営業損失）は6百万円（前年同期は37百万円の利益）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて2.5%増加し、11,997百万円となりました。これは、売掛金が271百万円減少したものの、現金及び預金が372百万円、営業投資有価証券が90百万円それぞれ増加したこと等によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて3.3%減少し、4,950百万円となりました。これは主に、工具、器具及び備品（純額）が122百万円減少したこと等によるものであります。

この結果、総資産は前連結会期年度末に比べて0.7%増加し、16,947百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて0.1%減少し、8,998百万円となりました。これは、短期借入金が700百万円増加したものの、未払法人税等が629百万円減少したこと等によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて12.4%増加し、2,323百万円となりました。これは、長期借入金が255百万円増加したこと等によるものであります。

この結果、負債合計は前連結会計年度末に比べて2.3%増加し、11,322百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて2.2%減少し、5,625百万円となりました。これは、配当金の支払により利益剰余金が104百万円減少したこと、自己株式の取得により72百万円減少したこと、親会社株主に帰属する四半期純利益が37百万円計上されたこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年5月14日に公表しました通期の業績予想数値から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,485,551	2,857,784
売掛金	3,166,049	2,894,369
電子記録債権	682,079	644,831
営業投資有価証券	341,490	431,918
商品及び製品	3,326,485	3,371,755
仕掛品	67,416	113,168
原材料及び貯蔵品	866,117	854,929
前払費用	394,971	434,094
その他	396,002	421,304
貸倒引当金	△25,616	△26,342
流動資産合計	11,700,549	11,997,813
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,284,419	1,284,419
減価償却累計額	△239,075	△253,599
建物及び構築物（純額）	1,045,344	1,030,820
工具、器具及び備品	2,248,204	2,266,346
減価償却累計額	△854,907	△995,069
工具、器具及び備品（純額）	1,393,297	1,271,276
土地	633,104	633,104
その他	312,473	298,362
減価償却累計額	△103,227	△107,683
その他（純額）	209,246	190,678
有形固定資産合計	3,280,992	3,125,880
無形固定資産		
のれん	159,309	153,042
その他	39,066	39,600
無形固定資産合計	198,376	192,643
投資その他の資産		
投資有価証券	755,835	756,441
敷金及び保証金	499,187	521,603
破産更生債権等	47,585	48,155
繰延税金資産	106,448	89,643
その他	341,029	324,167
貸倒引当金	△107,907	△108,477
投資その他の資産合計	1,642,179	1,631,534
固定資産合計	5,121,548	4,950,057
資産合計	16,822,097	16,947,870

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	945,857	1,006,680
電子記録債務	134,049	139,065
短期借入金	5,120,000	5,820,000
1年内返済予定の長期借入金	641,860	666,857
リース債務	92	92
未払金	778,617	507,285
未払法人税等	659,819	30,284
契約負債	490,366	515,257
賞与引当金	47,380	14,451
製品保証引当金	953	993
その他	186,100	297,695
流動負債合計	9,005,097	8,998,662
固定負債		
長期借入金	1,902,971	2,158,717
リース債務	115	92
退職給付に係る負債	47,193	47,086
繰延税金負債	6,856	7,063
再評価に係る繰延税金負債	94,429	94,429
その他	16,200	16,200
固定負債合計	2,067,765	2,323,588
負債合計	11,072,863	11,322,250
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,077,756	1,077,756
資本剰余金	1,500,036	1,500,036
利益剰余金	3,296,532	3,229,529
自己株式	△252,667	△324,886
株主資本合計	5,621,658	5,482,436
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	95,590	105,586
土地再評価差額金	8,444	8,444
為替換算調整勘定	16,563	22,172
その他の包括利益累計額合計	120,599	136,203
新株予約権	5,618	5,618
非支配株主持分	1,358	1,361
純資産合計	5,749,233	5,625,619
負債純資産合計	16,822,097	16,947,870

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
売上高	4,918,592	4,701,074
売上原価	3,625,482	3,760,843
売上総利益	1,293,109	940,231
販売費及び一般管理費	978,834	887,534
営業利益	314,275	52,696
営業外収益		
受取賃貸料	135	—
為替差益	40,825	15,902
その他	6,187	10,297
営業外収益合計	47,147	26,199
営業外費用		
支払利息	7,770	11,266
株式報酬費用消滅損	6,359	—
その他	5,364	4,280
営業外費用合計	19,494	15,546
経常利益	341,929	63,349
特別利益		
固定資産売却益	4,684	—
投資有価証券売却益	—	7,329
関係会社株式売却益	1,279,328	—
新株予約権戻入益	392	—
特別利益合計	1,284,405	7,329
特別損失		
固定資産除却損	328	105
貸倒引当金繰入額	132,582	—
棚卸資産評価損	126,793	—
特別損失合計	259,703	105
税金等調整前四半期純利益	1,366,630	70,572
法人税、住民税及び事業税	540,659	19,855
法人税等調整額	△85,734	13,705
法人税等合計	454,924	33,560
四半期純利益	911,705	37,011
非支配株主に帰属する四半期純利益	424	3
親会社株主に帰属する四半期純利益	911,281	37,008

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
四半期純利益	911,705	37,011
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	57,463	9,995
為替換算調整勘定	1,983	5,608
その他の包括利益合計	59,447	15,604
四半期包括利益	971,153	52,616
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	970,728	52,612
非支配株主に係る四半期包括利益	424	3

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更に関する注記)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。これによる四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前年四半期及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。これによる前年四半期の四半期連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等の注記)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント			
	デジタルデバイス	デジタルエンジニアリング	ICTプロダクツ	計
売上高				
外部顧客への売上高	2,006,702	804,027	1,667,536	4,478,265
セグメント間の内部売上高又は振替高	95,828	474	39,430	135,733
計	2,102,530	804,501	1,706,967	4,613,999
セグメント利益又は損失(△)	224,100	337,385	1,185	562,671

(単位：千円)

	その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損益計算書計上額(注)3
売上高				
外部顧客への売上高	440,327	4,918,592	—	4,918,592
セグメント間の内部売上高又は振替高	2,274	138,007	△138,007	—
計	442,601	5,056,600	△138,007	4,918,592
セグメント利益又は損失(△)	37,523	600,195	△285,919	314,275

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、Webサイト構築事業・環境エレクトロニクス事業・システム構築、技術者派遣事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額△285,919千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用で、報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

当第1四半期連結会計期間において、株式会社クレイトソリューションズの株式を売却し連結の範囲から除外したことにより、前連結会計年度の末日に比べ、「その他」のセグメント資産が825,881千円減少しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント			
	デジタルデバイス	デジタルエンジニアリング	ICTプロダクツ	計
売上高				
外部顧客への売上高	2,437,088	634,889	1,539,733	4,611,711
セグメント間の内部売上高又は振替高	65,300	4,225	21,004	90,530
計	2,502,388	639,115	1,560,737	4,702,241
セグメント利益又は損失(△)	361,298	△83,660	△10,667	266,970

(単位：千円)

	その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損益計算書計上額(注)3
売上高				
外部顧客への売上高	89,363	4,701,074	—	4,701,074
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,785	92,315	△92,315	—
計	91,148	4,793,390	△92,315	4,701,074
セグメント利益又は損失(△)	△6,892	260,078	△207,381	52,696

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、Webサイト構築事業・環境エレクトロニクス事業・システム構築、技術者派遣事業、ベンチャー投資事業を含んでおります。
 2. セグメント利益又は損失の調整額△207,381千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用で、報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。
 3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
減価償却費	49,570千円	163,203千円
のれんの償却額	7,094	6,266